

いばらき 市議会だより

2026年
(令和8年)
No.264

2
月号



輝くイルミネーションとおにくる 【撮影日 令和7年12月23日】

12月（第5回）定例会

令和7年第5回定例会を12月4日から
17日までの14日間の会期で開催しました。

編集 / 議会広報委員会 発行 / 茨木市議会
電話 (072) 620-1670 FAX (072) 623-7591
https://www.city.ibaraki.osaka.jp/shisei_info/gikai/index.html



スマートフォン等で
読み取ることができます。

- Page2
12月定例会
一般会計補正予算質疑

- Page4
高校生との
意見交換会を開催

- Page3
市議会のうごき

- Page5
 - 12月定例会議決結果
 - 可決された意見書
 - 請願

答

問 農業経営を取り巻く現状は厳しく、食糧の安定供給のために新たな施策が必要と考える。

答 JA茨木市との包括連携協定を用い、農業経営経験者の組織化を図り、従事者の雇用を念頭に、そこの活動拠点となるようなプロジェクトチームを立ち上げてはどうか。

答 JA茨木市において、すでに組合員の営農を支援する受託部会があるため、新たにプロ

食糧安定供給のための組織を

ジエクトチームを立ち上げる考えはないが、地域から集落営農組織等の設立に向けた相談があれば、JA茨木市等とも連携しながら、きめ細かな対応を図っていく。

問

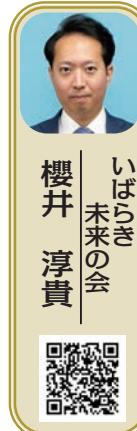
熊に関する通報への対応等は



答 教職員が意見を伝えやすい風土を築く必要性はあると考えている。虐待発見時は、緊急に会議等を開催し、教職員の意見や情報を正確に収集した上で方針を決定し、通告に至っている。また、通告者の秘匿は重要と考えている。

学校現場での通告における対応は

問 本市の保育需要は転換点を迎えるにつあり、定員拡大を重視する量的な施策から、保育所選びの幅を広げ、利便性を向上させるような質的な施策へ重点を移していくべきではないか。送迎保育ステーション事業は、その具体策として有力な選択肢の一つだと考えるが、他の自治体の事例研究やコストの試算、ニーズ調査など、

送迎保育ステーションの導入は

答 本市の保育需要は転換点を迎えるにつあり、定員拡大を重視する量的な施策から、保育所選びの幅を広げ、利便性を向上させるような質的な施策へ重点を移していくべきではないか。送迎保育ステーション事業は、その具体策として有力な選択肢の一つだと考えるが、他の自治体の事例研究やコストの試算、ニーズ調査など、

12月定例会

一般会計補正予算 (第4号)質疑



左記二次元コードから
録画配信を
ご覧いただけます。

12月4日、5日の2日間にわたり、令和7年度一般会計補正予算(第4号)に対する質疑を行いました。

誌面の都合上、質疑の一部しか掲載できません。詳しい内容は、市議会ホームページ等で公開予定の会議録をご覧ください。(2月中旬予定)

導入に向けた検討を進めることについて、市の考えは、
本市の保育需要の動向を踏まえつつ、引き続き、調査
および検討を進めていく。

答

本市では、これまでから補助金の見直しが
行われていて、今後、物価高騰も考慮し、家賃と人件費の補助上
限額を見直す考えはあるのか。



行われているが、今後、物価高騰等を踏まえ、事業者からの意見も聞きながら、引き続き補助金のあり方を検討していく。

答

物価高騰と社会情勢の変化等を踏まえ、事業者からの意見も聞きながら、引き続き補助金のあり方を検討していく。

問 コミュニティデイハウス（※1）の事業運営において、物価高騰により人件費や運営費等が上昇し、運営の担い手等の確保に影響が生じているとのことである。本市では、これまでから補助上限額の増額を含め補助金の見直しが



行われているが、今後、物価高騰等を踏まえ、事業者からの意見も聞きながら、引き続き補助金のあり方を検討していく。

答

誘致病院は、中等症以上の救急搬送患者の受け入れ強化を目的に、市内2次救急医療体制の充実を図るものである。また、小児の2次救急患者の多くが市外に搬送されていることは本市の課題の一つと考えており、小児2次救急を誘致病院で実施することは大変意義深いものと認識している。

問 病院誘致事業は民設民営との認識で間違いないか。病院事業者候補者から、総事業費が新たに提出された。病院誘致事



行われているが、今後、物価高騰等を踏まえ、事業者からの意見も聞きながら、引き続き補助金のあり方を検討していく。

答

物価高騰と社会情勢の変化等を踏まえ、事業者からの意見も聞きながら、引き続き補助金のあり方を検討していく。

問 誘致病院における小児救急の意義は

誘致病院の小児救急は、入院・手術が必要な2次救急患者のみの受け入れを計画しているが、その理由は、2次救急患者の受け入れのみで、誘致病院に係る基本整備構想に記載されている「小児救急医療の充実」という市民の要望はかなえられると考えているのか。



長年暮らした土地に、家族に負担を残さない形で墓を選びたいという声を市民の方から聞いている。公営の合葬式墓地を設置している近隣市では、生前予約を含め多くの需要があるとのことで、本市においても需要は少なくないと考える。公営合葬式墓地の設置について、市の見解は。

答

現時点では、市営墓地の状況を把握することを優先しながら、合葬式墓地について、公営で取り組む根拠を含め、引き続き事例研究等を行いながら、課題の整理を行っていく。

公営合葬式墓地の設置は



業では、これまでから市に対する建設費や運営経費の赤字補填への財政的支援の要望がなされていたが、今回の文書も踏まえた、市の考えは、募集要項においても民設民営での公募としている。誘致病院には、採算のとりづらい救急医療などの医療機能の提供を義務付けており、一定の支援は必要と考えるが、単なる病院経営の赤字補填とならないよう、本市の財政状況等を見極め、市民の皆さんとの共感が得られるよう、引き続き、協議・調整を重ねていく。

答

募集要項においても民設民営での公募としている。誘致病院には、採算のとりづらい救急医療などの医療機能の提供を義務付けており、一定の支援は必要と考えるが、単なる病院経営の赤字補填とならないよう、本市の財政状況等を見極め、市民の皆さんとの共感が得られるよう、引き続き、協議・調整を重ねていく。

市議会のうごき											
12月											
24日	19日	17日	15日	11日	10日	9日	5日	4日	本会議(初日)	本会議(2回目)	本会議(3回目)
幹事長会 幹事長会 意見交換会	高校生と茨木市議会との意見交換会	幹事長会 議員総会	本会議(最終日) 議会運営委員会	幹事長会 議員総会	総務常任委員会 議会広報委員会	民生常任委員会 建設常任委員会	文教常任委員会 建設常任委員会	文教常任委員会 建設常任委員会	本会議(初日)	本会議(2回目)	本会議(3回目)

(※1) コミュニティデイハウス： 地域の介護予防の拠点施設として、介護予防講座や運動のほか、食事の提供、趣味・レクリエーション活動、入浴事業や送迎を行っている。（入浴事業や送迎は未実施施設あり、送迎は利用要件あり）

答

茨木みちクルプロジェクト（※2）の取組みとして、今年度に3回目の社会実験が実施されたが、今後も実施していくのか。また、今回の社会実験で新たな課題も見えてきたとのことだが、本市のストリートデザインガイドラインに示されている将来像に変化はあるのか。

ガイドラインで示している実現に向けたロードマップ



3回目の社会実験となった茨木みちクルプロジェクト

中央・東西通りの将来像について公明党
和田 美紀

問 茨木市学童保育室整備計画には、令和8年度からの目標として入室対象学年の拡大についての記載がある。しかし、実際はモデル実施のための計画策定が8年度、モデル実施が9年度以降

自由民主党・糸井
貴治**学童入室対象学年の拡大について**

のことである。当初の計画から遅れているが、原因は何か。

答

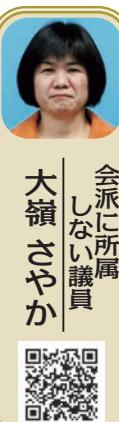
対象学年の拡大による児童数の増加に対応するための場所の確保等の見通しや、拡充計画の検討に一定の時間を要すること、また、令和7年度に一部の学童保育室で利用児童数の推計値を上回る申請があつたことから、実施時期の再検討を行つたためである。

問

おにフルは市の取組みと建築デザインが高い相乗効果を

自由民主党・糸井
光夫**公共施設に建築デザインの意識を****答**

報道によると、ダムパーク内の建物工事において、下請け業者が建設業法上、無許可で請負が可能な限度額を超えて工事を受注したとのことである。事業者は説明責任を果たす必要があり、少なくとも、ホームページに経緯や施設の安全性等について掲載すべきと考えるがどうか。

会派に所属しない議員
大嶺さやか**ダムパーク建物工事の説明責任は**

報道によると、ダムパーク内の建物工事において、下

答

建築デザインも重要なとともに、おにフルは空間・照明・家具のデザインの持つ力が発揮されたことにより、高い評価や多くの利用につながっていると考える。今後、さまざまな既存公共施設の中でデザインの力を取り込んでいくことは可能と考えており、その力を最大限生かしていく。

高校生との意見交換会を開催

令和7年12月19日に、追手門学院高校・早稲田大阪高校の皆さんと意見交換会を開催しました。



(※2) 茨木みちクルプロジェクト：JR茨木駅、阪急茨木市駅をつなぐ中央通り・東西通りの東西軸を対象に、安全面の環境整備や道路空間の利活用等により、人を中心の魅力的な空間に再編することを目的として本市が進めている一連の取組みのこと。

12月定例会議決結果

(○ : 賛成、× : 反対)

◆議長（自由民主党・絆：福丸 孝之議員）は採決に加わりません。

◆12月定例会の議案内容については、市役所南館1階情報ルームに設置している資料をご覧ください。

在わ、12月定例会市長提出案件の概要については、市議会ホームページでご覧いただけます。

可決された意見書

12月定例会で可決された意見書を関係機関に送付しました。

- 最高裁判決に基づき全ての生活保護利用者に対する速やかな被害回復措置を求める意見書
 - 医療機関の経営改善に向けた診療報酬制度及び税制の見直しを求める意見書
 - 地方税財源の充実確保を求める意見書
 - 地方の福祉人材確保の取組に向けた財政措置を求める意見書



請願

12月定例会に提出された請願は民生常任委員会の審査を経て、12月17日の最終本会議で採決の結果、次のとおり決定しました。

- ◆請願第1号 乳・幼児期から学童期までの保育・学童保育、子育て支援施策の拡充を求ることについて……………【不採択】